

各課別事業一覧

課名	掲載ページ	事業名
広報国際交流課	P.1	姉妹都市交流事業
	P.2	潮芦屋交流センター事業
市民参画課	P.3	地区集会所管理運営事業
	P.4	県民交流広場事業
	P.5	市後援名義の使用承認
	P.6	地区集会所での社会教育関係団体等の使用料減免
	P.7	さくらまつり開催支援
	P.8	芦屋市芸術文化活動助成
	P.9	市民文化振興基金の啓発事業
	P.10	民間支援活動の促進事業
	P.11	芦屋市芸術文化顕彰事業
	課税課	P.12
人権推進課	P.13	ふれ愛シネサロン
地域経済振興課	P.14	あしや山まつり
	P.15	あしや秋まつり開催支援
上宮川文化センター	P.16	食育講座
	P.17	お話しシアター
	P.18	人形劇
	P.19	児童センター映画会
	P.20	上宮川文化センター管理運営
	P.21	上宮川文化センター図書室
	P.22	ワンコインシアター
	P.23	ヒューマンライツシアター
	P.24	人権啓発展示会
	P.25	母親教室
	P.26	児童センター子育て講演会
P.27	リーダー養成講座	
障害福祉課	P.28	芦屋市障がい児・者作品展
高齢介護課	P.29	敬老会事業
	P.30	演芸フェスティバル
	P.31	Y〇クラブ活動支援
	P.32	老人クラブ活動支援
	P.33	ゆうゆう倶楽部の活用
	P.34	生きがいデイサービス
	P.35	シルバー人材センター支援
	P.36	老人福祉会館の運営
公園緑地委員	P.37	芦屋オープンガーデン
教育課	P.38	芦屋市教育委員会後援名義の使用承認
	P.39	学校園施設目的外使用の使用許可
学校教育課	P.40	芦屋市学校給食展
	P.41	芦屋市立学校園「花いっぱい活動」
	P.42	芦屋市立学校園 自由研究・教育活動展
	P.43	中学校総合文化祭
	P.44	造形教育展
	P.45	読書スタンプラリー
	P.46	味覚の一週間
	P.47	なかよしフェスティバル
	P.48	中学校英語暗唱・スピーチコンテスト
生涯学習課	P.49	平和の鐘を鳴らそう
	P.50	オープンカレッジ
	P.51	コミュニティ・スクールへの活動支援事業
	P.52	学校園・家庭・地域の教育推進支援事業（本の虫ねっと連絡会）
	P.53	学校園・家庭・地域の教育推進支援事業（ほっこりママサロン）
	P.54	学びあいセミナー（市民による出前講座）
	P.55	社会教育関係団体支援・育成事業
	P.56	
	P.57	富田碎花旧居の公開及び富田碎花旧居普及啓発事業
	P.58	富田碎花賞の実施
	P.59	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（「谷崎潤一郎物語の棲み家」展）
	P.60	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（「谷崎潤一郎 人と作品」展）
	P.61	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（「<谷崎源氏>三つの変奏」展）
	P.62	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（「谷崎潤一郎 人と作品」展）
	P.63	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（残月祭）
	P.64	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（谷崎映画上映会「細雪」）
	P.65	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（ロビーギャラリー）
	P.66	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（ギャラリートーク）
	P.67	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（その他事業（現地講座及び朗読会））
	P.68	谷崎潤一郎記念館管理運営事業（文学普及事業）
	P.69	美術博物館管理運営事業（コレクション展）
	P.70	美術博物館管理運営事業（チェコ絵本をめぐる旅）
	P.71	美術博物館管理運営事業（吉原治良の挑戦）
	P.72	美術博物館管理運営事業（この世界の在り方）
	P.73	美術博物館管理運営事業（第34回芦屋市造形教育展）
	P.74	美術博物館管理運営事業（びはくルーム）
	P.75	美術博物館管理運営事業（あしやつくる場）
	P.76	美術博物館管理運営事業（芦屋の歴史と文化財）
	P.77	美術博物館管理運営事業（昔の暮らし）
	P.78	国指定史跡会下山遺跡発掘調査60周年・国史跡指定5周年記念事業
	P.79	文化財保護事業

各課別事業一覧

課名	掲載ページ	事業名
	P. 80	文化財普及啓発事業
	P. 81	子ども対象文化財関連事業
	P. 82	文化財ボランティア養成事業
	P. 83	芦屋市文化遺産継承・活性化事業
	P. 84	あしやキッズスクエア
青少年育成課	P. 85	【公民館講座】田辺真人先生の「文化の歴史」講座 Part 1 4
	P. 86	【公民館講座】歴史を探る Part 2 3 一戦後の日本の歩み
	P. 87	【公民館講座】芦屋病院公開講座
	P. 88	【公民館講座】世界はニュースだけではわからない
	P. 89	【公民館講座】初心者向け パソコン講座
	P. 90	【公民館講座】シルクロードの光彩
	P. 91	【公民館講座】阪神間の街かどウォッチング
	P. 92	【公民館講座】日本人の源流・神話を訪ねて
	P. 93	【公民館講座】芦屋の街かどウォッチング
	P. 94	【公民館講座】芦屋病院公開講座
	P. 95	【公民館講座】田辺真人先生の「文化の歴史」講座 Part 1 5
	P. 96	【公民館講座】シルクロードの光彩
	P. 97	【公民館講座】科学をいまどう理解するか
	P. 98	【公民館講座】世界はニュースだけではわからない
	P. 99	【公民館講座】神戸、阪神間の街かどウォッチング
	P. 100	【公民館講座】没後20年 司馬遼太郎の見た『坂の上の雲』から日本を考える
	P. 101	【公民館講座】芦屋で暮らした人々
	P. 102	【公民館講座】芦屋大学公開講座
	P. 103	【公民館】にほんごがっきゅう
	P. 104	【公民館】講演会、セミナー等
	P. 105	【公民館】NHK公開セミナー等の共催事業
	P. 106	【公民館】子ども教室
市民センター	P. 107	【公民館音楽会】六車智香おしゃべりコンサート
	P. 108	【公民館音楽会】左手のピアニスト 智内威雄コンサート
	P. 109	【公民館音楽会】雅楽に合わせて舞う女人舞楽
	P. 110	【公民館音楽会】竹中真ジャズピアノコンサート
	P. 111	【公民館音楽会】スプリング・コンサート
	P. 112	【公民館】常設展示事業
	P. 113	公民館ギャラリー
	P. 114	公民館図書室
	P. 115	市民センター管理運営
	P. 116	【市民センター】市民ステージ
	P. 117	【市民センター】市民ギャラリー
	P. 118	【市民センター】市民絵画展
	P. 119	【ルナ・ホール事業】第70回市民寄席 「桂米團治独演会」
	P. 120	【ルナ・ホール事業】木津川計の一人語り劇場 「私は貝になりたい」
	P. 121	【ルナ・ホール事業】国際フォーラム 「音楽とトークで描く芦屋の未来」
	P. 122	【ルナ・ホール事業】いきいきシネマサロン
	P. 123	【ルナ・ホール事業】夏休み子どもシアター
P. 124	【ルナ・ホール事業】松永貴志JAZZ LIVE	
P. 125	【ルナ・ホール事業】木津川計のラストステージ イン ルナ	
P. 126	【ルナ・ホール事業】第7回文学サロン 「須賀敦子と芦屋・西宮」	
P. 127	【ルナ・ホール事業】第71回市民寄席 「ごこば・南光・雀三郎 三人会」	
P. 128	【ルナ・ホール事業】あしやティアフル映画祭	
P. 129	【公民館】芦屋川カレッジ33期生	
P. 130	【公民館】芦屋川カレッジ聴講生	
P. 131	【公民館】芦屋川カレッジ大学院	
図書館	P. 132	読書講演会
	P. 133	秋の大人が楽しむおはなしの会
	P. 134	大人が楽しむおはなしの会
	P. 135	金曜シネサロン
	P. 136	おはなしの研究会
	P. 137	こどもの本の研究会
	P. 138	親子で楽しむおはなしの会
	P. 139	親子で楽しむ絵本の会
	P. 140	怖くて楽しいおはなしの会
	P. 141	こどもおはなしの会
	P. 142	絵本の会
	P. 143	打出分室こどもおはなしの会
	P. 144	小学生の本の部屋
	P. 145	折り紙教室（子ども対象）
	P. 146	人形劇の会
	P. 147	ライブラリーコンサート
	P. 148	ギャラリー展示
	P. 149	資料収集・保存・提供

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 広報国際交流課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	○

施策・事業名	姉妹都市交流事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	昭和36年度～								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	芦屋市内、モンテペロ市内								施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(あしやトライあぐる)
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	----------------

目的	内容
外国文化との交流: 姉妹都市との交流を深めることによって、国際化に対応した人づくりを目指す。	姉妹都市学生親善使節の相互派遣事業: 7月から8月にかけて、学生親善使節2名ずつが相互に、姉妹都市を訪問し交流した。 姉妹都市提携55周年事業: 市民訪問団のメンバーを公募し、芦屋市から市長・議長を含めて23名がモンテペロ市を訪問。モンテペロ市からモンテペロ市長を含めて18名が芦屋市を訪問。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数 (学生親善使節の相互派遣事業のみ)	人	719	666	690	3,710(うち学生親善使節事業1,034)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
幅広い世代の市民に参加していただけるよう事業内容の工夫	幅広い世代の市民へ周知を行い、多くの市民が関わることができる事業の実施

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
姉妹都市提携55年を記念に両市の絆と交流を推進した。

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

**平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票**

担当所属名 広報国際交流課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	潮芦屋交流センター事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	平成23年度～								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	潮芦屋交流センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(まちなび)
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	-----------

目的	外国文化の理解や、文化活動の推進	内容	潮芦屋交流センターでの多文化理解や文化活動の推進するための事業
----	------------------	----	---------------------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 参加者数	人	セミナー132人	セミナー129人	セミナー150人	134 88 487 158 8 93 90
		コンサート256人	コンサート276人	コンサート300人	
		世界の料理教室289人	世界の料理教室285人	世界の料理教室280人	
		ワールドフェスタ230人	ワールドフェスタ320人	ワールドフェスタ350人	
		講演会104人	講演会119人	講演会80人	
		文化教室179人	文化教室138人	文化教室154人	
		国際親善イベント118人	国際親善イベント89人	国際親善イベント110人	

文化面での課題	多くの市民が参加していただけるような、より充実した事業内容にする。	文化面での今後の方向性	国際交流の拠点であり、事業内容を工夫し様々な外国文化の理解につなげる事業を行う。
---------	-----------------------------------	-------------	--

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
姉妹都市提携55年を記念に両市の絆と交流を推進した。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民参画課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	地区集会所管理運営事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	地区集会所										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	地域社会における相互の親睦と文化活動の増進に寄与	内容	指定管理者(地区集会所運営協議会連合会)による管理運営文化活動の拠点としての場の提供
----	--------------------------	----	--

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
利用件数	件	20,991	21,485	21,800	41,907	

文化面での課題	地域活動団体の継続性と自立性の維持	文化面での今後の方向性	地域活動活性化と文化活動参加の機会の提供
---------	-------------------	-------------	----------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	県民交流広場事業									第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月1日～3月31日									重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	地区集会所										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	地域社会における相互の親睦と文化活動の増進に寄与する。	内容	地区集会所での県民交流広場事業の広報紙、ホームページでの周知
----	-----------------------------	----	--------------------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標					0

文化面での課題	県民交流広場事業の継続性と自立性の維持	文化面での今後の方向性	県民交流広場事業を周知し参加の機会を創出する。
---------	---------------------	-------------	-------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	市後援名義の使用承認								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
市民主体の文化・スポーツ等の振興	活動団体に対する後援名義の使用承認

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	承認件数	件	108	100	105	0

文化面での課題	文化面での今後の方向性
市民の文化活動促進に寄与する事業であるかどうかの適切な審査	迅速かつ適切な審査を行い文化・スポーツの振興を図る。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	地区集会所での社会教育関係団体等の使用料減免								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	地区集会所										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
	その他(社会教育関係団体等)										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	地区集会所での文化活動等の促進と地域の活性化	内容	社会教育関係団体等へも地区集会所利用料の減免
----	------------------------	----	------------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	利用割合	%	21	19	20	0

文化面での課題	社会教育関係団体等の活動の活性化	文化面での今後の方向性	利用料金の減免により社会教育関係団体等の活動促進を図る。
---------	------------------	-------------	------------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	さくらまつり開催支援								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月2日・3日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	芦屋川東側道路(大正橋～国道2号業平橋間)・芦屋川河川敷特設ステージ										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
コミュニティの活性化とふるさとづくりの推進	さくらまつり協議会への活動助成及び安全対策への助成

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
参加者数	人	15,500	16,500	16,500	3,515

文化面での課題	文化面での今後の方向性
さくらまつりを運営するための協賛金が集まりにくい。 さくらまつり協議会の主体的な運営	誰もが参加できる安全に配慮したまつりの開催

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
1日中楽しみながら美しい桜を鑑賞する機会として、市民の皆さまなどから好評を得ているため。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	芦屋市芸術文化活動助成								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
市民の芸術文化活動の振興	個人又は団体に対する活動助成・支援

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標 助成件数	件	7	6	10	108

文化面での課題	文化面での今後の方向性
助成団体が限られている。	文化活動助成制度の周知を行い、助成対象者の増加を図る。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	市民文化振興基金の啓発事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
市民の芸術文化活動の振興	ふるさと寄付金を活用した市民文化振興基金の啓発

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	寄付金件数	件	15	6	10	0

文化面での課題	文化面での今後の方向性
寄附文化の意識の醸成	文化活動に対する個人や企業からの支援の促進

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

C

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	民間支援活動の促進事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
市民の芸術文化活動の振興	あしや市民活動センターでの民間助成金情報の提供や相談

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標						0

文化面での課題	文化面での今後の方向性
助成金情報等の認知度の低さ。	適切な情報提供により文化活動の円滑化と活性化を図る。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

C

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民参画課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	芦屋市芸術文化顕彰事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	顕彰贈呈式:3月25日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	芦屋市市民センター301・302室										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
市民の芸術文化活動の振興	文化活動に対する顕彰

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標 顕彰件数	件	6	18	15	46

文化面での課題	文化面での今後の方向性
顕彰対象者を広げたことによる顕彰基準の検討	顕彰により、さらなる文化活動の促進を図る。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 総務部課税課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	ご当地ナンバープレートの交付								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	1月10日～								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	芦屋市役所北館2階課税課窓口										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(4)文化を通じたまちの魅力の一体的な発信
	その他(市内所在法人等)										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(納税通知書発送用封筒裏面に記載)				

目的	内容
市内外に「芦屋らしさ」を発信する。	50cc以下の原動機付自転車ご当地ナンバープレート(2種類)の交付

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	発行枚数	枚	0	237	200	1,062

文化面での課題	文化面での今後の方向性
交付対象が原動機付自転車(50CC以下)の所有者に限られる。	新規登録だけでなく、既存の所有者に対してもご当地プレートへの交換を働きかける。(H29は納税通知書発送用封筒裏面に記載)

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
芦屋の魅力をデザインを通して市内外へ発信

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 人権推進課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	ふれ愛シネサロン								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	8月6日, 2月4日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
人権課題や平和・教育問題をテーマとした映画を通して、人権意識の高揚を図る	人権課題や平和・教育問題をテーマとした映画の上映

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	511
成果指標	参加者数	人	305	359	360		

文化面での課題	文化面での今後の方向性
幅広い年代の参加	

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 地域経済振興課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)
○

施策・事業名	あしや山まつり								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	5月22日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	奥池あそびの広場									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
市民が自然に親しむ。	ハイキング及び会場でコンサートや木工体験などの文化に親しむ。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数	人	1,000	450	600	456

文化面での課題	文化面での今後の方向性
コンサートなどが多く自然に親しむ要素が薄い。	木工や自然の力を生かした工作など目的を明確にした内容を充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
ハイキング、甲南女子大学のチャリーディング、コンサート、木工教室など、様々な方が自然を感じながら楽しめるイベント

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)
C

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

地域経済振興課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	あしや秋まつり開催支援								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月19日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	精道小学校校庭										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
地域の多世代交流推進世農村文化の継承	秋まつり協議会への活動及び安全対策支援

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加人数	人	5,500	5,500	5,500	3,105

文化面での課題	文化面での今後の方向性
もともとの収穫祭としての要素が薄れ、参加者も減少しつつある。	開催場所や内容について検討を行っていく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	食育講座								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	夏休み・11月								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他(小学校1~3年生, 3歳児と保護者)										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
児童の健全育成を図る。	身近な題材を通じて、食の問題を楽しく考える。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加者数	人	280	176	280	15

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	お話しシアター								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	夏休み								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他(乳幼児の保護者)										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
児童の健全育成を図る。	歌や物語を通して、豊かな感性を表現力を育てる。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加者数	人	138	202	220	9

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価

(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	人形劇								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	9月								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他(乳幼児の保護者)										

広報媒体							
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()	

目的	内容
児童の健全を図る。	人形劇を通して豊かな心を育てる。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加者数	人	54	62	70	30

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	児童センター映画会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	夏・春休み								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
児童の健全育成を図る。	子どもの想像力や表現力を養い、文化・芸術活動を高めることによって児童の健全育成を図る。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
参加者数	人	69	247	250	100

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 上宮川文化センター

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	上宮川文化センター管理運営								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	上宮川文化センター施設の管理運営、貸出	内容	上宮川文化センター管理運営・貸出
----	---------------------	----	------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 使用件数	人	4,055	3,944	4,200	14,059

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	上宮川文化センター図書室								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	通年								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
その他(阪神7市1町在住、芦屋市在学・在勤のもの)											

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
読書活動の推進	上宮川文化センターで図書の貸出を行う。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	
成果指標	貸出利用者数	人	4,074	7,751	8,100	14,059	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	ワンコインシアター								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	年3~4回								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
人権啓発の推進	名作映画の上映会実施

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
参加者数	人	432	441	450	-

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	行事を通じて上宮川文化センター利用につなげる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 上宮川文化センター

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	ヒューマンライツシアター								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	年2~3回								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
人権啓発の推進	人権・平和・環境に関する映画を上映することで、人権意識の高揚を図る。

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数		人	480	535	550	324

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	人権啓発展示会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	2月15日～3月1日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを目指す生涯学習活動の振興
	その他()										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
人権啓発の推進	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに展示会を行い、啓発の場とする。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	掲示パネル数	枚	-	40	40	-

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 上宮川文化センター

新規・継続														
継続														
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)														
施策・事業名					母親教室					第2次文化振興基本計画での位置づけ				
実施期間										重点取組項目				
実施場所					上宮川文化センター					②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進				
対象(ターゲット)					市民全般					施策の方向性				
					男性					(3)親子に向けた積極的な情報発信				
					女性									
					乳幼児									
					小・中学生									
					成人									
					高齢者									
					障がい者									
					外国人									
					その他()									

広報媒体											
広報あしや											
市HP		ウェブサイト(市HP以外)		ポスターチラシ		SNS		TV新聞等		その他()	

目的					内容				
児童の健全育成を図る。					健康・子育て・食育・環境をテーマに交流する。				

指標名		単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	70
成果指標	参加者数	人	64	51	65		

文化面での課題					文化面での今後の方向性				
					今後も適切に事業を継続する。				

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 上宮川文化センター

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	児童センター子育て講演会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	11月1日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)親子に向けた積極的な情報発信
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	児童の健全育成を図る。	内容	子育て、教育について様々なテーマで講演会を行う。
----	-------------	----	--------------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
参加者数	人	32	21	40	32

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 上宮川文化センター

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	リーダー養成講座								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	2月15日～3月1日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	上宮川文化センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを目指す生涯学習活動の振興
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
人権啓発の推進	同和問題をはじめ日本社会における重要な人権課題や、平和・教育問題をテーマに講演会を行い、啓発の場とする。

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数		人	76	82	100	120

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も適切に事業を継続する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

障害福祉課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	芦屋市障がい児・者作品展							第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	11月2日～8日							重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	芦屋市保健福祉センター・木口記念館								
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人
	その他()								
								施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを旨とした生涯学習活動の振興

広報媒体									
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(社会福祉協議会便り)			

目的	文化を通じた世代間交流	内容	多くの市民に障がい児・者への理解を深めてもらうことを目的に作品を展示
----	-------------	----	------------------------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
障害者手帳所持者数における出展者数の割合	%	3.6	4.1	5	0

文化面での課題	認知度が低く一般参加者数が少ない。	文化面での今後の方向性	周知に努め出展数の増加を目指す。
---------	-------------------	-------------	------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	敬老会事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	9月10日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
高齢者の生きがい支援	高齢者を招待し、演芸鑑賞を実施

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加人数	人	700	600	700	797

文化面での課題	文化面での今後の方向性
対象者の選定	高齢者のニーズに合わせて内容を検討していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	演芸フェスティバル								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	7月2日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	ルナホール									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (3)ユニバーサル社会づくりを目指す生涯学習活動の振興
	その他()									

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
高齢者の生きがい支援	高齢者を中心とした文化的活動を行っている市民グループが集い、コーラスや踊りなど日頃の練習の成果を披露

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	参加人数	人	500	400	500	259

文化面での課題	文化面での今後の方向性
企画・内容・参加団体の固定化	新たな団体に参加してもらえる取り組みを検討していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	YOクラブ活動支援								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを目標とした生涯学習活動の振興
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	高齢者の生きがい支援	内容	芦屋で結成された文化的活動を行う高齢者の団体への支援
----	------------	----	----------------------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
会員数	人	152	145	150	100	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
会員の増加	活動が活性化するよう支援を行う。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	老人クラブ活動支援								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを目指す生涯学習活動の振興
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	高齢者の生きがい	内容	高齢者の地域での活動を通じた仲間づくりの支援
----	----------	----	------------------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
会員数	会員数	人	2,975	3,042	3,050	7,110

文化面での課題	文化面での今後の方向性
会員の増加	活動が活性化するよう支援を行う。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	ゆうゆう倶楽部の活用								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(4)文化ゾーンの活性化, 各種施設の有効活用
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	高齢者の生きがい支援	内容	小学校の敷地内に集会所を設置し, 健康体操や手芸, 絵画等の活動を行う市民に開放し, 高齢者の居場所を提供
----	------------	----	---

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	参加人数	人	4,010	4,065	4,100	72	

文化面での課題	同じ団体の利用が大半 新規拡大に向けた参加人数及び利用回数の増加	文化面での今後の方向性	地域の拠点となるような企画を行う。
---------	-------------------------------------	-------------	-------------------

(注目施策・事業にチェックした場合, 自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由, 特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

C

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	生きがいデイサービス								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
高齢者の生きがい支援	身近な地域で高齢者のつどいの場を提供し、学芸や体操、歌や絵画などを実施

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加人数	人	3,326	4,815	4,900	2,330

文化面での課題	文化面での今後の方向性
参加人数の増加及び取組内容の変更	より多くの地域の方にご利用いただけるよう整備を行うなど、取組内容の変更を検討していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	シルバー人材センター支援								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(3)ユニバーサル社会づくりを目指した生涯学習活動の振興
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	高齢者の生きがい支援	内容	高齢者が就労を通して様々な活動を展開し、住みよいまちづくりに貢献できるよう支援
----	------------	----	---

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	20,000
会員数		人	1,054	1,092	1,150		

文化面での課題	会員の増加及び取組内容の拡充	文化面での今後の方向性	高齢者の社会参加の拠点となるような企画を行う。
---------	----------------	-------------	-------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 高齢介護課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	老人福祉会館の運営								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(4)文化ゾーンの活性化, 各種施設の有効活用
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体							その他()
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等		

目的	内容
高齢者の生きがい支援	高齢者が囲碁や将棋等を通じて交流を深めることができる居場所の提供

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 利用者数	人	28,554	27,100	29,000	4,687

文化面での課題	文化面での今後の方向性
利用者の増加及び内容の拡充	高齢者の社会参加の拠点となるような企画を行う。

(注目施策・事業にチェックした場合,自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由, 特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公園緑地課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)
○

施策・事業名	芦屋オープンガーデン								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	5月14日～5月22日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	市内一円									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	花と緑いっぱいのもちづくりに向けた市民との協働	内容	花と緑のもちづくりの推進を目的に個人宅、マンション敷地、学校園、公園で活動されている個人・団体から参加を募り、庭や花壇を公開
----	-------------------------	----	--

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
	参加者数(オープンガーデン箇所数)	箇所	107	121	127	1,337

文化面での課題	公共施設、個人参加者の定着及び促進	文化面での今後の方向性	花と緑いっぴいの取組を実施し、市民意識の向上を促す。
---------	-------------------	-------------	----------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
花と緑いっぴいのまちづくりに向けた市民との協働として、例年参加者数(オープンガーデン箇所数)が増加している。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)
B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 教育委員会管理課

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	芦屋市教育委員会後援名義の使用承認									第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年									重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所										施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	その他()	

広報媒体

広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	教育、学術、文化及びスポーツ活動の振興	内容	教育、学術、文化およびスポーツに関する事業を行う団体に対し、芦屋市教育委員会の後援名義の使用を承認する。
----	---------------------	----	--

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標 承認件数	件	175	165	170	0

文化面での課題	市民の文化活動促進に寄与する事業であるかどうかの適切な審査	文化面での今後の方向性	引き続き迅速かつ適切な事務処理に努め、教育、学術、文化およびスポーツの振興を図る。
---------	-------------------------------	-------------	---

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 教育委員会管理課

新規・継続										
継続										
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)										
施策・事業名		学校園施設目的外使用の使用許可							第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間		通年							重点取組項目	
実施場所		学校園							①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
対象(ターゲット)		市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人
		その他()							施策の方向性	
									(4)文化ゾーンの活性化、各種施設の有効活用	

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
交流機会の促進	条例に定めるところにより、学校園施設の目的外使用の許可を行った。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
目的外使用の許可件数	件	202	232	200	0

文化面での課題	文化面での今後の方向性
学校園の運営上支障がない範囲という原則を踏まえつつ、いかに市民のかたに活動の場を提供できるかという調整を図ること。	引き続き迅速かつ適切な事務処理に努めたい。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	芦屋市学校給食展									第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	7月28日～29日									重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進
実施場所	芦屋市民センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)親子に向けた積極的な情報発信
	その他()										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()

目的	内容
芦屋市における学校給食について深く理解を求め、学校と家庭・地域社会との連携を強め、児童の健全な心身の発達に資する望ましい食生活を探求する。	学校給食・栄養・食生活についてのパネル展示、食生活についてのクイズ、児童作品展示、試食コーナー等

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	参加人数	人	約500	約500	約500	330

文化面での課題	文化面での今後の方向性
より広く市民の皆様にも来場していただく。	ホームページやポスターなどでのPR活動の充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

芦屋の学校給食の理解を深めるとともに、芦屋の給食の魅力を効果的に発信しているイベントとなっているため。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	芦屋市立学校園「花いっぱい活動」								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	学校園訪問4月24日～4月27日 学校園花いっぱい活動写真展 5月15日～5月31日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	訪問一芦屋市立学校園 写真展示一芦屋市役所北館1階市民ロビー横掲示板										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体											
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(まちなび)					

目的	内容
幼児、児童、生徒が花作りに参加し、開花を喜んだり、野菜の収穫を楽しんだりしながら、生命を大切に作る心の育成や豊かな感性をはぐくむ。	各学校園を訪問し、花壇や花作りなど、それぞれ工夫していることや子ども達の取り組みの話を聞いたり、ボランティアの方からのアドバイスを受ける。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	
成果指標	参加学校園	校・園	中学校3 小学校8 幼稚園7	中学校3 小学校8 幼稚園7	中学校3 小学校8 幼稚園8	482	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
花いっぱい活動訪問によって、各学校園の取組がわかり、その良さをパネル展で発信することができている。今後も、子どもたちの教育に生かしていくよう取組を進めていく。	各学校園の取り組みをホームページや写真展示を通して伝える。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

**平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票**

担当所属名 学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	芦屋市立学校園 自由研究・教育活動展								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	9月16日～19日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進
実施場所	市民センター									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	学校間の交流を図るとともに学校教育に対する市民の理解と関心を高める。	内容	幼稚園の特色ある教育活動の写真や小中学校の児童生徒の作品を展示する。
----	------------------------------------	----	------------------------------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数	人	約1600	約1600	約1700	384	

文化面での課題	出品者の関係者以外の参加者が少ない。	文化面での今後の方向性	関係機関と連携し、自由研究・教育活動展を周知する。
---------	--------------------	-------------	---------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	中学校総合文化祭								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月31日(音楽の部)・2月1日~2月14日(書道の部)								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール(音楽の部)・芦屋市役所北館1階展示スペース(書道の部)										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	内容
<ul style="list-style-type: none"> 市立3中学校生徒が一堂に会し、音楽発表を通してお互いの芸術・文化的な創造活動の交流を図る。 音楽発表や書道作品を通して市立中学校の芸術・文化的活動を広く市民に紹介し、学校教育に対する理解と関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> (音楽の部) 合唱部による合唱 市内3中学優秀クラスによる合唱 市内3中学吹奏楽部合奏 市内3中学校合同合唱(書道の部) 市内3中学生との書道作品

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 参加者数	人	約1100	約1100	約1200	361

文化面での課題	文化面での今後の方向性
出場者の関係者以外の参加者が少ない。	関係機関と連携し、中学校総合文化祭を周知する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	造形教育展								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	2月18日～26日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	芦屋市立美術博物館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()

目的	内容
芦屋市立全学校園の幼児、児童、生徒の特色ある絵画や工作进行を展示し、本市の造形教育に対する理解や支援を得る。	芦屋市立美術博物館全館で、芦屋市立全学校園の幼児、児童、生徒の平面作品や立体作品、共同作品などを約1000点、展示する。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	見学者数	人	約4300	約4500	約4600	619

文化面での課題	文化面での今後の方向性
出品者の関係者以外の参加者が少ない。	関係機関と連携し、芦屋市造形教育展を周知する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 学校教育課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	○

施策・事業名	読書スタンプラリー								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月～3月								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	市内全小学校										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	小学生が本を読むきっかけづくりと、本を読む環境をつくる。	内容	低学年(1～3年生)は150冊、高学年(4～6年生)は100冊の本を読み、読書記録とスタンプラリーを学校教育課に提出すると表彰状がもらえる。
----	------------------------------	----	--

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 表彰者数	人	376	543	550	253

文化面での課題	提出する児童が固定化している。	文化面での今後の方向性	学校図書館教育担当教諭や学校図書館司書補助員と連携をしてスタンプラリーの取り組みを活性化する。
---------	-----------------	-------------	---

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
表彰者数が飛躍的に向上

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)
○

施策・事業名	味覚の一週間								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	市内各小学校										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()				

目的	内容
<ul style="list-style-type: none"> ・児童に対して味覚教育・学習を行う。 ・バランスのとれた生活スタイルの中での食べ物の役割の重要性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を活用しながら、味の基本となる4つの要素(「塩味」、「酸味」、「苦味」、「甘味」)に、「うまみ」を加えた5味についての知識や味わうことの楽しみに触れる体験型学習。 ・芦屋市内にある有名料理店のシェフたちとのコラボ給食を実施。栄養士や調理師たちが日本料理やフレンチ、イタリアンのシェフたちとタッグを組み、おいしい給食づくりを目指すとともに、その際に教わった調理方法などを給食に取り入れる。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	実施校数	校	2	8	9	80,000	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
・学習を行っているのが、各校1学年のみである。	・より多くの学年で実施する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
芦屋の給食の魅力アップに寄与しているため。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	なかよしフェスティバル								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	11月18日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	芦屋市立体育館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)親子に向けた積極的な情報発信
	その他(市立幼稚園の5歳児とその保護者)										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	芦屋市立幼稚園全園の5歳児とその保護者が一堂に会し、運動遊びを楽しみながら他園の幼児や保護者と親睦、交流を深める。	内容	親子での運動遊びだけでなく、他園の幼児同士がかかわったり、他園の保護者と幼児がふれあったりできる内容の遊びを組み合わせ、いろいろな人とかかわりを楽しむ。
----	---	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	-	-	-	-	-	84

文化面での課題	子どもの豊かな感性を育むため、親子でのふれあい活動や共有体験の推進	文化面での今後の方向性	親子で楽しく体を動かしたり、いろいろな人とかかわったりする経験を大切にする。
---------	-----------------------------------	-------------	--

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

学校教育課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	中学校英語暗唱・スピーチコンテスト								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月14日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	芦屋国際中等教育学校										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()				

目的	内容
生徒が高い目標を持って英語の暗唱やスピーチの発表をし、他校の優れた発表に触れ、また、その努力の成果を表彰される経験を持つことで、学習動機、向上心および技能を高めるとともに、中学校の英語教育の工夫改善に資する。	英語による暗唱とスピーチのコンテスト

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	外国語によるスピーチコンテスト参加人数	人	66	88	100	39.0	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
市民に開かれた行事としての周知ができていない。	市民への周知方法を検討し、多くの市民に参加してもらう。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

**平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票**

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	平和の鐘を鳴らそう								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	8月15日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	芦屋市民センター 本館玄関前及び401室										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体							
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()	

目的	内容
平和と人権について啓発	終戦記念日である8月15日に市民センターにある優愛の鐘を鳴らし平和を祈り、戦争にまつわる話等を聞き、平和と人権について考える。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	参加者数	人	約100	80	80	0

文化面での課題	文化面での今後の方向性
戦争を知っている世代の減少	過去の悲惨な出来事を繰り返さないよう、平和と人権の尊さを啓発・継承していく。

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	オープンカレッジ							第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	8月20日、8月27日、9月3日、10月1日、11月19日、12月7日、1月28日、2月25日 計8日							重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	兵庫県立芦屋高等学校同窓会館 あしかび会館								
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人
	その他()								
								施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	文化について学ぶ機会の充実と市内にある高等学校への理解と親しみを育む。	内容	兵庫県立芦屋高等学校と委託契約を行い、年間の実施事業について、芦屋高校で企画から実施まで、市民を対象とする事業を行なう。 【講座名】「日本の文化」のすばらしさ体感！(年間8回講座実施) 芦屋高校では、特設科目「日本の文化」を開講し、弓道・連歌・能楽・囲碁・茶華道など多様なジャンルの伝統文化を体験的に学習し、日本文化に通底する特質についての理解を深める工夫をしている。オープンカレッジでは、実際に授業で指導を担当する講師を招き、参加者の皆さんに芦屋高校の授業を体験しながら、日本の伝統文化のよさを考えていただく機会を提供した。
----	-------------------------------------	----	---

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加者数	人	436	97	-	100

文化面での課題	日本の文化へ興味を持つ人の減少	文化面での今後の方向性	なし(平成28年度をもって事業終了のため)
---------	-----------------	-------------	-----------------------

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	コミュニティ・スクールへの活動支援事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間									重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	芦屋市立小学校等										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(4)文化ゾーンの活性化, 各種施設の有効活用
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	学校を拠点とする文化活動を通じたコミュニティの創造	内容	市内9コミスクからなる連絡協議会と各コミスクに対する補助金や連絡調整等を行うことにより, 世代間及び地域の交流事業や文化活動等のコミスク活動の支援を行なう。
----	---------------------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	コミスクが実施した地域交流事業数	回	-	128	130	2,811	

文化面での課題	役員が後継者不足になっている地域がある。	文化面での今後の方向性	現状維持
---------	----------------------	-------------	------

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	学校園・家庭・地域の教育推進支援事業(本の虫ねっと連絡会)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	6月20日, 11月11日, 2月17日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所										施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	
その他(園児・児童・生徒の保護者及び地域協力者)										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他(学校掲示物)				

目的	内容
本の虫ねっと連絡会への参加及び調整等の支援を行うことで、文化活動を通じた地域のつながりづくりの推進や、読書に親しむことができる環境の整備を目指す。	本の虫ねっと世話役及び各ボランティア団体の主催する本の虫ねっと連絡会への参加及び調整等の支援

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	本の虫ねっと連絡会への参加回数	回	3	3	3	11

文化面での課題	文化面での今後の方向性
「読み聞かせボランティア」活動及び「図書室の開室ボランティア」活動を担う人手が足りない地域がある。	「読み聞かせボランティア」活動及び「図書室の開室ボランティア」活動の充実

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	学校園・家庭・地域の教育推進支援事業(ほっこりママサロン)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	3月9日, 3月14日 計2日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	芦屋市立宮川幼稚園, 芦屋市立潮見幼稚園										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)親子に向けた積極的な情報発信
	その他(保育所, 幼稚園に通う前の子どもを持つ保護者)										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	子育てに悩みを持つ親を対象に、家庭教育の支援を行う。	内容	幼稚園で実施している「さんさんひろば」に参加している子どもが遊んでいる間に保護者で集まって話をさせていただくことで、子育ての悩みを共有し、家庭教育の啓発を行う。
----	----------------------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	ほっこりママサロンの実施回数	回	-	2	2	0

文化面での課題	新規事業のため、周知の必要がある。	文化面での今後の方向性	家庭教育支援のため、情報提供を行う。
---------	-------------------	-------------	--------------------

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	B
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	学びあいセミナー(市民による出前講座)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間									重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他(社会教育関係団体)										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	社会教育関係団体の会員等が、活動の中で習得された知識などを生かし、講師として講座を行い、学びの輪を広げる。	内容	本市社会教育関係団体や、社会教育活動を通じて学んだ市民による出前講座の実施
----	---	----	---------------------------------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
講師登録団体数	講師登録団体数	団体	-	-	10	0

文化面での課題	平成28年度は社会教育関係団体への研修で事業を説明したが、今後さらに周知が必要	文化面での今後の方向性	講師登録希望者を増やすために、事業についての周知徹底を行う。
---------	---	-------------	--------------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	社会教育関係団体支援・育成事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間									重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所									施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他(社会教育関係団体)										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
社会教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市の考える社会教育関係登録団体について正しく理解していただく為の説明と団体間の情報交流 ・社会教育関係団体の登録更新及び広報あしや(市民のひろば欄)への掲載依頼許可及び市内広報掲示板の使用許可等、情報発信の支援

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	新規登録申請団体数	団体	9	4	4	55

文化面での課題	文化面での今後の方向性
社会教育関係登録団体としての役割が理解されていない。各団体内の活動のみの現状維持がほとんどである。	社会教育関係登録団体としての役割を理解いただき、活動を促す。団体相互の連携や協力を促し活性化を図る。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	B
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	社会教育関係団体支援・育成事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間									重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所											
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
	その他(社会教育関係団体)										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
社会教育活動の推進	公募提案型補助金制度を設け、社会教育関係団体が行う事業内容に対して支援を行う。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	団体数	-	-	-	15	-

文化面での課題	文化面での今後の方向性
平成28年度は社会教育関係団体への研修で事業を説明したが、今後さらにも周知が必要	制度の内容を多くの社会教育関係団体に周知し、団体の活発な活動を支援していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	○

施策・事業名	富田碎花旧居の公開及び富田碎花旧居普及啓発事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間									重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	富田碎花旧居								施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
	その他()									

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
富田碎花旧居を公開し、富田碎花を顕彰する。 富田碎花および富田碎花旧居について、チラシやイベント等を通して広く周知し、市の大きな魅力として位置付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年5月～耐震改修工事後のリニューアルオープン 七夕イベント～文学の名所で願いをこめて～の実施(6/22～7/10, 参加者98人) 宮川町子ども会対象イベント「碎花先生のお家で七夕飾り！」の実施(7/2, 参加者20人) 押し葉グッズ作り(11/19, 参加者2人) 団体見学者の受け入れ(7件) ①谷崎潤一郎記念館(3回) ②芦屋市観光協会(1回) ③阪神南県民センター(2回)

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	見学者数	人	264	963	1000	978

文化面での課題	文化面での今後の方向性
富田碎花を知らない市民が多い。	富田碎花旧居および富田碎花資料を一般公開 富田碎花旧居においてイベントを開催し、富田碎花の顕彰につなげる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
改修が終了し、全国類似施設へのチラシ配架や雑誌掲載などにより、入場者数が大幅に向上しているため

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	富田碎花賞の実施								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間									重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	市民センター								施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他(全国の詩人)										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	富田碎花賞の開催を通じて、富田碎花を顕彰	内容	平成27年7月～平成28年6月に刊行された現代詩集を募集し、受賞詩集を選考、賞を贈呈する。
----	----------------------	----	---

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 応募詩集数	冊	128	89	90	1150

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	富田碎花賞を実施し、富田碎花の顕彰につなげる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)
○

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(「谷崎潤一郎物語の棲み家」展)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月2日から6月26日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	谷崎潤一郎記念館									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	
	その他()									

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
芦屋ゆかりの作家、谷崎潤一郎の作品や人物像の紹介を行い、文学に触れる機会を創出すること。	谷崎が阪神間時代に暮らした邸宅を紹介。「ナオミの家」の外観写真や間取り図、「鎖瀾閣」の模型や部材、「富田碎花旧居」での谷崎・松子夫妻の写真、「倚松庵」で使われていたテーブルと椅子など約100点を展示。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標 入館者数	人	-	4,539	-	1,486 通年事業費

文化面での課題	文化面での今後の方向性
谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした展覧会が困難である。	幅広い層を対象とした展覧会を実施していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
富田碎花旧居との関わりをもつことで、富田碎花旧居での見学につながるなど、効果的な連携を行った。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続														
新規														
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)														
施策・事業名					谷崎潤一郎記念館管理運営事業(「谷崎潤一郎 人と作品」展)					第2次文化振興基本計画での位置づけ				
実施期間					7月2日から9月4日					重点取組項目				
実施場所					谷崎潤一郎記念館					③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり				
対象(ターゲット)					市民全般 男性 女性 乳幼児 小・中学生 成人 高齢者 障がい者 外国人 その他()					施策の方向性				
										(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり				

広報媒体											
広報あしや											
市HP		ウェブサイト(市HP以外)		ポスターチラシ		SNS		TV新聞等		その他()	

目的					内容				
芦屋ゆかりの作家、谷崎潤一郎の作品や人物像の紹介を行い、文学に触れる機会を創出すること。					谷崎潤一郎の生涯と文学を遺愛品、初版本、書簡、写真などの資料展示を通じて紹介 【特別展示】「潤一郎、郷愁の幼き日々」 生誕130年の記念日を踏まえ、美貌の母・関の写真や随筆「幼少時代」に寄せた日本画家・錦木清方の挿絵原画などを公開した。				

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	1,486 通年事業費
成果指標 入館者数	人	-	2,685	-		

文化面での課題					文化面での今後の方向性				
谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした展覧会が困難である。					幅広い層を対象とした事業を実施していく。				

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続	新規
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(「谷崎源氏」三つの変奏展)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	9月10日から12月11日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	谷崎潤一郎記念館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
芦屋ゆかりの作家、谷崎潤一郎の作品や人物像の紹介を行い、文学に触れる機会を創出すること。	生涯に3度現代語訳した「谷崎源氏」を紹介。黒漆塗りの愛蔵本や、2度目の訳に掲載された日本画家の安田靫彦、小倉遊亀、福田平八郎、堂本印象らの挿絵原画など約100点を展示。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 入館者数	人	-	5,203	-	1,486 通年事業費

文化面での課題	文化面での今後の方向性
谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした展覧会が困難である。	幅広い層を対象とした事業を実施していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続	新規
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(「谷崎潤一郎 人と作品」展)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	12月17日から3月20日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	谷崎潤一郎記念館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
芦屋ゆかりの作家、谷崎潤一郎の作品や人物像の紹介を行い、文学に触れる機会を創出すること。	谷崎潤一郎の生涯と文学を遺愛品、初版本、書簡、写真などの資料を通して紹介 【特別展示】「肉筆に見る文豪谷崎」 20代の頃の流麗な筆文字の書簡やささまざまな直筆原稿など、時代によって変化した文豪の肉筆をたどった。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 入館者数	人	-	3,006	-	1,486 通年事業費

文化面での課題	文化面での今後の方向性
谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした展覧会が困難である。	幅広い層を対象とした事業を実施していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(残月祭)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	7月24日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	芦屋ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	イベントを通じて谷崎潤一郎につながる文学に親しんでいただくこと。	内容	「残月祭」は谷崎の誕生日を記念して毎年開催している。平成28年度は生誕130年に当たり、ゲストに「マシアス・ギリの失脚」「すばらしい新世界」など、スケールの大きな純文学作品を書いてきた作家の池澤夏樹氏を迎え、谷崎の波乱万丈の歴史roman「乱菊物語」を中心に、谷崎文学をいかにおもしろく読むかを語っていただいた。
----	----------------------------------	----	--

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	通年事業費
成果指標 入場者数	人	260	284	300	1,486	1,486

文化面での課題	谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした事業が困難である。	文化面での今後の方向性	幅広い層を対象とした企画を検討していく。
---------	---	-------------	----------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(谷崎映画上映会「細雪」)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月24日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	谷崎潤一郎記念館									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	
	その他()									

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
谷崎潤一郎の作品である「細雪」の映画を市民ホールである「芦屋ルナ・ホール」で上映することで、より多くのかたに谷崎潤一郎文学に親しむ機会を創出する。	谷崎映画名作選「細雪」上映会 平成28年4月24日(日) ①10時30分～ ②13時30分～

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	来場者数	人	491	1,052	800	1,486	通年事業費

文化面での課題	文化面での今後の方向性
谷崎作品の映画であるため、対象とする世代が高齢者に偏る。	メディア芸術の原点である映画を利用し、谷崎潤一郎文学愛好者の拡大に努める。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続
新規
注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)
○

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(ロビーギャラリー)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	各期間								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	谷崎潤一郎記念館									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	
	その他()									

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
広報あしや						

目的	内容
様々な切り口から谷崎潤一郎作品に関連するイベントを実施し、文学に親しむ機会を創出する。	楓大介「四代目中村鴈治郎襲名披露」写真展(4/2~5/22開催) 中西松泉作品展「萬葉の花」(5/25~6/26開催) 猫ノ居ル 応接間ニテ~三人の作家による光と影のラビリンス~(7/2~7/31開催) 小山翔平作品展「四角い視覚」(8/3~9/4開催) 岡田嘉夫「源氏絵展」(9/10~10/2開催) 「文豪ストレイドッグス」展(10/5~11/6開催) 須藤絢乃写真展「てりはのいばら」(11/9~12/10開催) 長谷川透「四季の舞妓」展(12/17~1/22開催) 写真と銅版画展「千子の夢」(1/25~2/19開催) 谷崎館講座受講生作品展「ブラッシュライティング」(2/22~2/26開催) 谷崎館講座受講生作品展「仏画」(2/22~2/26開催) 谷崎館講座受講生作品展「“ほっこり”書で遊ぶ」(3/1~3/5開催) 谷崎館講座受講生作品展「白磁上絵付け」(3/1~3/5開催) 谷崎館講座受講生作品展「しあわせを呼ぶ絵手紙」(3/8~3/12) 谷崎館講座受講生作品展「スケッチ」(3/15~3/20)

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	1,486 通年事業費
成果指標	入館者数	人	-	15,433 (展示含む)	-		

文化面での課題	文化面での今後の方向性
谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした展示会が困難である。	今後も様々な切り口から事業を実施し、来館者数の増加及び来館者層の拡大を図っていく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)
注目施策・事業とする理由、特色等
 「文豪ストレイドッグス」展では関連のホームページやファンのSNS、新聞などで多く取り上げられ、中高生の入館者の増加に繋がった。

自己評価
 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続	新規
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(ギャラリートーク)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	各期間								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	谷崎潤一郎記念館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
解説を実施し、より深く谷崎潤一郎文学への理解を深めてもらう。	高濱浩子ギャラリートーク(7/3開催・4名参加) 小山翔平ギャラリートーク(8/7開催・12名参加) 岡田嘉夫ギャラリートーク(9/11開催・44名参加) 須藤絢乃ギャラリートーク(11/13開催・40名参加) 才村昌子ギャラリートーク(1/29開催・14名参加) 井上正三ギャラリートーク(3/20開催・42名参加)

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数	人	-	156	-	1,486 通年事業費

文化面での課題	文化面での今後の方向性
谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした事業が困難である。	谷崎潤一郎文学への深い理解と興味を持ってもらう事業を行っていく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(その他事業(現地講座及び朗読会))								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	各期間								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	谷崎潤一郎記念館及び各実施場所										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	芦屋市内、市外の谷崎潤一郎ゆかりの地を巡ることで、展示とは異なった視点から谷崎潤一郎に親しみを持ってもらうこと。	内容	<p>【現地講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷崎ゆかりの邸宅を訪ねて～「富田碎花旧居」見学会～(5/14, 6/4, 10/22, 11/26開催, 74名参加) ・谷崎の愛した名湯と豪邸(10/6, 10/7, 10/20, 10/26開催, 53名参加) <p>【朗読会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回「谷崎潤一郎物語の棲み家」(5/21回債, 29名参加) 第2回「<谷崎源氏>三つの変奏」(10/15開催, 30名参加)
----	--	----	--

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
参加者数	人		186		1,486 通年事業費

文化面での課題	谷崎潤一郎という特定の作家を題材としているため、幅広い層を対象とした事業が困難である。	文化面での今後の方向性	展示だけでなく、様々な視点からの事業を展開し、谷崎潤一郎文学への興味を持ってもらう。
---------	---	-------------	--

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	生涯学習課
-------	-------

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	谷崎潤一郎記念館管理運営事業(文学普及事業)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	各期間								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	谷崎潤一郎記念館									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	
	その他()									

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	多様化・高度に専門化した館利用者の学習ニーズに対応する。	内容	【文学館講座】 源氏物語講座・枕草子」を読む講座・俳句講座・スケッチ講座・ちょっといい文章書いてみませんか講座・白磁上絵付講座・ほっこり書講座・短歌講座・真田三代物語・季語から始める俳句レッスン・筆で描くカリグラフィー講座・幸せを呼ぶ絵手紙講座・仏画講座・初歩からの朗読講座・朗読ワークショップ・古典あらかると 【1日講座】 壁掛け“一字書作品”, 木で作る猫のブローチ, 酉の年賀状を絵手紙で, 鳥獣戯画模写, 日本画, 美文字で書くのし袋と一筆箋, 絵手紙
----	------------------------------	----	---

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	1,486 通年事業費
成果指標	参加者数	人	-	2,506	-		

文化面での課題	谷崎潤一郎文学以外の分野での文学普及事業において、参加者がその後谷崎潤一郎に興味を持つような事業の展開が困難	文化面での今後の方向性	各種広報媒体を利用して、谷崎潤一郎記念館の認知度を上げ、新たな入館者層の拡大・受講者の増加を図る。
---------	--	-------------	---

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	美術博物館管理運営事業(コレクション展)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月16日から6月19日(56日間)								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	美術博物館									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	
	その他()									

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
芦屋で誕生した前衛美術グループ、具体美術協会は、いまや国内に限らず、世界的に関心が注がれる存在となっている。芦屋市立美術博物館の恵まれたコレクションの中から、1950年代を中心とした作品群を紹介することで、芦屋ゆかりの美術に親しんでいただくこと。	期間中、美術博物館の具体美術作品コレクションを展示(関連事業) ・ワークショップ「こどもツアー&ワークショップ」(5/5、5/15開催・35名参加) ・見学会「具体美術協会ゆかりの場所を巡るツアー」(5/28開催・10名参加) ・講演会「具体美術協会参加の頃から現在の制作まで」(5/29開催・89名参加) ・ワークショップ「美術博物館体験プログラム/ギャラリートーク」(展示解説)(6/5、6/12開催・4名参加) ・学芸員によるギャラリートーク(6/12開催・2名参加)

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標 入館者数	人	-	1,561	-	25,004(通年事業費)

文化面での課題 (平成28年度新規事業)	文化面での今後の方向性
	芦屋市ゆかりの美術について、広く周知する機会となるため、今後も展覧会等を通じて、アピールしていく。また、世界的に注目が高まっている分野のため、芦屋市の魅力向上に繋げたい。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	美術博物館運営管理(チェコ絵本をめぐる旅)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	7月2日から9月4日まで(56日間)								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	美術博物館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
制作過程の資料や絵本など約150点を通じて、チャペックやチェコ絵本の伝統を築いた草創期から、近年チェコで注目を集めている最新鋭の創作まで、日本とのつながりを含めながら、その幅広く奥深い魅力を紹介する。	期間中、絵本原画やリトグラフ、絵コンテ、デッサン、制作過程資料や絵本を展示 【関連事業】 ・講演会「チェコ絵本の中の潮流:チェコ・コミックと日本の漫画」(7/2開催・42名参加) ・ワークショップ「眠る動物を描こう!」(7/31開催・67名参加) ・上映会「チェコアニメの源流」(8/14開催・123名参加) ・読み聞かせ「ミュージアムdeえほんの会」(7/24, 8/28開催・51名参加) ・ギャラリートーク(7/16, 8/20開催・47名参加)

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 入館者数	人	-	6,706	-	25,004 (通年事業費)

文化面での課題 (平成28年度新規事業)	文化面での今後の方向性
	美術博物館の性質上、ターゲットとする対象年齢が上がりがちだが、今後も新たな切り口から子どもを含む家族を対象とした事業を実施していく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
展示会での子どもの来場者数増加に寄与

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	美術博物館管理運営事業(吉原治良の挑戦)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	9月17日から11月27日(62日間)								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	美術博物館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
20世紀の前衛美術を代表する画家・吉原治良の生涯を、大阪新美術館とともに、多くの作品を所蔵する芦屋市立美術博物館の所蔵の中から厳選してたどる。 芦屋に居住し、関西の前衛美術をリードし続けた吉原治良のさまざまな挑戦に焦点をあて、紹介する。	期間中、作品の他、映像・写真展示等を行う。 【関連事業】 ・講演会「吉原治良—抽象への道」(10/1開催・45名参加) ・講演会「師 吉原治良を語る」(10/8開催・31名参加) ・鼎談「吉原治良研究のこれからを考える」(10/23開催・30名参加) ・ギャラリートーク(9/22, 11/23開催・60名参加)

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	25,004 (通年事業費)
	入館者数	人	-	3,170	-		

文化面での課題 (平成28年度新規事業)	文化面での今後の方向性
	継続的に芦屋ゆかりの美術を展示することで、地域に根差した文化交流の基幹とする。 また、世界的に注目が集まっている分野であるため、海外からの旅行者へのアピールとする。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	美術博物館管理運営事業(この世界の在り方)							第2次文化振興基本計画での位置づけ			
実施期間	12月10日から2月12日(51日間)							重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり		
実施場所	美術博物館							施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり		
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者				

広報媒体	市HP						ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	--	--	--	--	--	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
立体、平面、映像などの現代美術の作品と合わせ美術博物館のコレクションの近現代美術作品や考古・歴史資料を展示し、「思考」について考える。 各作品が見える事実とその向こう側にある真実を気付かせてくれ、この世界のとらえ方を再考する手がかりを提示してくれると考え、自らの考えや思いを導き出す「思考」を深める場として、実施する。	期間中、各作品の展示 【関連事業】 オープニングイベント「アーティストによるギャラリートーク」(12/10開催・90名参加) ・ライブパフォーマンス(1/9開催・50名参加) ・対談「河口龍夫/思考と芸術をめぐって」(1/28開催・82名参加) ・上映会「前谷康太郎作品」(2/4開催・38名参加) ・ギャラリートーク(12/24、1/21開催・61名参加)

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 入館者数	人	-	3,056	-	25,004 (通年事業費)

文化面での課題 (平成28年度新規事業)	文化面での今後の方向性 美術作品ともに、考古・歴史資料等を活用した市民文化の向上
-------------------------	---

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	美術博物館管理運営事業(第34回芦屋市造形教育展)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	2月18日から2月26日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	美術博物館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	市内の幼稚園・小学校・中学校生徒の創作活動及び発表の場の創出	内容	市内の幼稚園・小学校・中学校生徒の作品を全館にわたり展示
----	--------------------------------	----	------------------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	25,004 (通年事業費)
成果指標	入館者数	人	4,175	4,544	4,500		

文化面での課題	周知先, 周知方法の改善	文化面での今後の方向性	継続して事業を実施することで、芦屋市の子どもたちの創作活動及び意欲向上を目指す。
---------	--------------	-------------	--

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	美術博物館管理運営事業(びはくルーム)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月17・23日, 8月6・21日, 12月7日・1月22日, 3月5日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	美術博物館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()

目的	内容
現代美術作家と一緒に、美術の面白さ・楽しさ・難しさを発見し、美術に親しんでいただく場をつくる。	「誰かのためのシルクスクリーン」(4/17開催・32名参加) 「浜辺のみやげ」(4/23開催・17名参加) 「夜の写真のワークショップ」(8/6開催・37名参加) 「コチラとムコウinびはく」(8/21開催・47名参加) 「古今東西裏方事情 美術館とアートセンターの場合」(12/7開催・26名参加) 「表層の下から見えてくること」(1/22開催・6名参加) 「博物館のなかの博物館」(3/5開催・4名参加)

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数	人	650	169	300	25,004 (通年事業費)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
実施する内容・時期を毎年度変えているが、内容によって参加者が大きくことなるため、一定の参加者数を確保する企画が難しい。	小学生を対象として、美術に親しんでもらう場を提供する教育普及事業であるため、事業を継続して実施していくにあたり、様々な企画に取り組んでいく。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	○

施策・事業名	美術博物館管理運営事業(あしやつくる場)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月21・22日, 11月12・13日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	芦屋市立美術博物館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(4)文化ゾーンの活性化, 各種施設の有効活用
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
誰かがつくったものに触れたり, 自分自身でつくることにチャレンジしてみたり, “つくる”ことから生まれる喜びや発見を共有すること	各種ワークショップの開催(おいしいパン画を刷ってみよう・パステルアートワークショップ・似顔絵バッジ・活版印刷をやってみよう・六甲山の間伐材から森を守ることを学びオシャレな木の雑貨をつくろう! など) 期間中の手づくり市・食品・古書店・一箱古本市の開催 音楽イベント・パフォーマンスの開催

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 参加者数	人	6,987	8,819	9,000	300

文化面での課題	文化面での今後の方向性
周知先, 周知方法の改善	年々参加者数が増加しているため, 芦屋市の文化イベントとして情報発信を行い, 芦屋市の魅力向上を図る。

(注目施策・事業にチェックした場合, 自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由, 特色等
年々参加者数が増加し, 芦屋市の魅力向上につながっている。

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	生涯学習課
-------	-------

新規・継続	継続	
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)		
施策・事業名	美術博物館管理運営事業(芦屋の歴史と文化財)	第2次文化振興基本計画での位置づけ
実施期間	4月16日から11月27日	重点取組項目
実施場所	美術博物館	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
対象(ターゲット)	市民全般 男性 女性 乳幼児 小・中学生 成人 高齢者 障がい者 外国人 その他()	施策の方向性
		(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
芦屋の文化財を展示し、歴史の紹介を行うことで、芦屋の歴史を学ぶ機会を創出する。	期間中、芦屋の文化財の展示を行う。

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 入館者数	人	2,689	11,437 美術展示含む	10,000	25,004 (通年事業費)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
同様の内容の展示にならないように、様々な視点からのアプローチが求められる。	繰り返し訪れても新たな発見が得られるような創造的事業を開催し、継続して実施することで、芦屋の歴史文化を知る機会をつくる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	美術博物館管理運営事業(昔の暮らし)								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	11月28日から2月28日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	美術博物館									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	歴史資料等の活用を図った市民文化の向上	内容	期間中、昔の人々の暮らしに着目した展示を行う。
----	---------------------	----	-------------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標 入館者数	人	5,972 美術展示含む	7,600	7,000	25,004 (通年事業費)

文化面での課題	同様の内容の展示にならないように、様々な視点からのアプローチが求められる。	文化面での今後の方向性	繰り返し訪れても新たな発見が得られるような創造的事業を開催し、継続して実施することで、芦屋の歴史文化を知る機会をつくる。
---------	---------------------------------------	-------------	--

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

新規

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	国指定史跡会下山遺跡発掘調査60周年・国史跡指定5周年記念事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月～3月								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	ルナ・ホール									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	国指定史跡である会下山遺跡の価値や魅力を、広く市民に周知する。	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡会下山遺跡発掘調査60周年・国史跡指定5周年記念シンポジウム(8/5, 参加者520人) ・展示「弥生時代の芦屋」(7/19～9/2, 見学者91人) ・子ども対象ワークショップ「えげのやま博士になろう!」(8/25, 参加者17人) ・パネル展示「国指定史跡・会下山遺跡」(10/12～10/28) ・国指定史跡会下山遺跡見学会(11/23, 参加者37人)
----	---------------------------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	参加者数	人	—	665	—	147

文化面での課題	会下山遺跡はこれまで高地性集落の代表として教科書や概説書に取り上げられていたが、近年、他県の高地性集落で調査と整備が進み、会下山遺跡が取り上げられる頻度が激減している。今後、会下山遺跡の史跡整備等を進め、積極的に全国に発信していく必要がある。	文化面での今後の方向性	会下山遺跡を芦屋市の魅力的な地域資源と位置付け、積極的に活用する。
---------	---	-------------	-----------------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

会下山遺跡発掘調査60周年・国史跡指定5周年記念事業として、シンポジウムやワークショップ、見学会等を通して広く市民に周知を行ったため。

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

**平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票**

担当所属名 生涯学習課

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	文化財保護事業									第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	—									重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	—										施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	その他()	

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
市内の文化財を調査・研究し、文化財の価値を把握した上で保護・保存するとともに、その成果等を周知する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財調査報告書の刊行(3種類) <ul style="list-style-type: none"> ①芦屋市文化財調査報告第105集 芦屋市内遺跡発掘調査概要報告書—阪神・淡路大震災復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財発掘調査— ②芦屋市文化財調査報告第106集 八十塚古墳群岩ヶ平支群第61号墳出土双龍環頭大刀調査・分析報告書 ③芦屋市文化財調査報告第107集 山芦屋古墳発掘調査概要報告書—兵庫県下有数の大型横穴式石室墳— ・文化財の指定・登録(1件) <ul style="list-style-type: none"> ①八十塚古墳群出土双龍環頭大刀柄頭(市指定有形文化財)

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	908
成果指標	-	-	-	-	-		

文化面での課題	文化面での今後の方向性
発掘調査の出土品等の整理・保管が十分にできておらず、数多くの調査成果が保管施設に眠ったまま活用されていない。今後、発掘調査の成果を有効に市民に発信できる環境を整備する必要がある。	市内の文化財を破壊や消滅から守り、後世に残すために、収集し、調査・研究によってその価値を明らかにする。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	文化財普及啓発事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	—								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	—								施策の方向性	(1)暮らしに根ざした文化交流のまちづくり
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報媒体	市HP						ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
広報あしや											

目的	市内の文化財を広報誌や冊子を通して広く周知することで、歴史や文化を通じた市の魅力を発信する。	内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化財関連冊子の刊行(2種類) <ul style="list-style-type: none"> ①国指定史跡 会下山遺跡パンフレット ②芦屋市指定史跡 金津山古墳リーフレット 文化財解説板の設置(1カ所) <ul style="list-style-type: none"> ①市指定史跡 芦屋神社境内古墳の解説板 『広報あしや』への文化財関連記事の掲載(計13回) <ul style="list-style-type: none"> ①「芦屋タイムトラベル」(12回) ②文化財特集(1回) 団体見学者の受け入れ(4件) <ul style="list-style-type: none"> ①芦屋青年会議所 ②あにあんクリエイト(2回) ③神戸ウォーキング協会
----	--	----	--

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	-	-	-	-	185

文化面での課題	文化財関連イベント等は、多くの参加者を得るのが難しい。	文化面での今後の方向性	市内の文化財を積極的に活用することによって、その価値や魅力を市民のシビックプライドの向上につなげる。
---------	-----------------------------	-------------	--

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	子ども対象文化財関連事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	—								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進
実施場所	三条文化財整理事務所・会下山遺跡・金津山古墳 他									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	市内の小学生が芦屋の歴史や文化に触れるきっかけをつくり、郷土愛を育む。	内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学校の社会見学等受け入れ(2件) <ul style="list-style-type: none"> ①朝日ヶ丘小学校6年児童(5/2, 78名) ②宮川小学校6年児童(5/13, 115名) トライやる・ウィークの受け入れ(3校) <ul style="list-style-type: none"> ①精道中学校(5/23~5/27, 3名) ②山手中学校(5/30~6/3, 3名) ③潮見小学校(6/6~6/10, 3名) 夏休み勾玉作り(公民館連携事業)(8/22, 40名)
----	-------------------------------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	-	-	-	242	242	-

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	芦屋市の子どもたちが、本市の歴史や文化財を知り、地域への誇りと愛着が育まれるよう、子ども対象の文化財関連事業を実施する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

子どもたちが歴史や文化財を知り、地域への誇りと愛着が育まれるよう実施しているため。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	文化財ボランティア養成事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	三条文化財整理事務所 他									施策の方向性
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
市民主体の歴史・文化財の活用と継承	<ul style="list-style-type: none"> 文化財ボランティア養成講座(8回, 参加者延60人) トライやる・ウィークへの協力(3回, 参加者延20人) 展示「弥生時代の芦屋」展示作業(参加者延11人) 会下山遺跡記念シンポジウム準備および運営への協力(参加者延13人) 公民館夏休み子ども講座「勾玉をつくろう」への協力(6人) 出土遺物の接合・復元(延138人) 文化財の普及啓発に関するものづくり(延73人)

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	延参加者数	人	-	340	340	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	ボランティアが学んだ知識を伝える機会をつくる。 ボランティアの活動拠点をつくる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
市民主体の歴史・文化財の活用と継承に向け取組を推進

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 生涯学習課

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	芦屋市文化遺産継承・活性化事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	—								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	—										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(5)文化芸術を行う団体への支援
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	文化遺産を活用して地域の活性化を測る。	内容	文化庁の補助事業「文化遺産を活かした地域活性化事業」で、実行委員会が西之町のだんじりを修理・公開
----	---------------------	----	--

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	0 (国庫補助100% 700万円)
	申込件数	件	1	1	1		

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	補助金等を活用し、文化財を活用した地域の活性化に取り組む。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 青少年育成課

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	○

施策・事業名	あしやキッズスクエア								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進
実施場所	清道小学校, 宮川小学校, 山手小学校, 朝日ヶ丘小学校, 潮見小学校, 浜風小学校								施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	児童の放課後の居場所づくり	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の児童が放課後に校庭や校舎を利用し、地域の方等の見守りを受けながら安全に過ごす居場所を提供する。 ・専門家や地域の方々の指導を受けながら、様々な体験活動を行う。
----	---------------	----	---

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	1校あたり平均利用者数	人/日	22.1	26.0	30	22,235

文化面での課題	地域プログラム指導者の更なる発掘	文化面での今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史、文化、風俗等を感じられるプログラムの開拓 ・より多様な文化を体験できるプログラムの開拓
---------	------------------	-------------	---

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等	居場所づくりと体験プログラム事業を組み合わせた放課後子供教室は関西では少ない
------------------	--

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】田辺真人先生の「文化の歴史」講座 Part14								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月6日～9月14日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員70名、月1回(全6回)の歴史講座
----	-----------------	----	-----------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	受講者数	人	87	79	70	7,000

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	従来から継続している人気の講座で、今後も継続して実施する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】歴史を探る Part23 一戦後の日本の歩み								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月8日～11月25日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員120名, 全6回の歴史講座
----	-----------------	----	--------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
受講者数	人	125	122	120	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	従来から継続している人気の講座で、今後も継続して実施する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】芦屋病院公開講座								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月9日～9月3日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
病気や医療の知識を深める機会を設ける。	募集定員80名、全6回の市立芦屋病院と共催する健康講座

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
受講者数	人	10 (1回だけの受講者274人を含めない)	17 (1回だけの受講者258人を含めない)	80	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
講座で取り上げる病気・テーマにより、参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を行う必要がある。引き続き、1回のみを受講者を受け入れる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続										
継続										
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)										
施策・事業名		【公民館講座】世界はニュースだけではわからない						第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間		4月16日～9月17日						重点取組項目		
実施場所		市民センター・公民館						①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進		
対象(ターゲット)		市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人
		その他()						施策の方向性		
								(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり		

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()

目的	内容
時事問題の知識を深める機会を設ける。	募集定員120名、全6回の時事問題講座

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
受講者数	人	134	113	120	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】初心者向け パソコン講座								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	6月3日～6月24日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	市民センター・公民館									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	インターネット検索など、日常生活に即したパソコンの使用を目的に、学習する機会を設ける。	内容	募集定員15名、全4回のパソコン講座
----	---	----	--------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	7,000(再掲)
成果指標	受講者数	人	14	10	15		

文化面での課題	受講者にレベル差があるため、どのレベルをターゲットにするかが難しい。	文化面での今後の方向性	講座を受講した方々が講師になっていただくようにする。常に受講者のニーズを把握する。
---------	------------------------------------	-------------	---

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続	継続	
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)		
施策・事業名	【公民館講座】シルクロードの光彩	第2次文化振興基本計画での位置づけ
実施期間	6月17日～7月1日	重点取組項目
実施場所	市民センター・公民館	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
対象(ターゲット)	市民全般 男性 女性 乳幼児 小・中学生 成人 高齢者 障がい者 外国人 その他()	施策の方向性
		(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員100名、全3回の歴史講座
----	-----------------	----	-------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	65	82	100	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	内容的には充実していたが、他のテーマで開催できないか検討する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】阪神間の街かどウォッチング								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	6月23日～6月30日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	神戸市、伊丹市内										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	阪神間の歴史や文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員25名、全2回、講師とともに街を歩く野外講座
----	---------------------	----	----------------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	受講者数	人	52	23	25	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。 学ばれた受講者が案内人として活躍できるようにしたい。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】日本人の源流・神話を訪ねて								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	7月2日～7月16日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員80名, 全3回の歴史講座
----	-----------------	----	-------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	106	86	80	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】芦屋の街かどウォッチング								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	9月10日～9月21日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	芦屋市内										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	芦屋の歴史や文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員20名、全2回、講師とともに街を歩く野外講座
----	--------------------	----	----------------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	36	22	20	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。 学ばれた受講者が案内人として活躍できるようにしたい。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】芦屋病院公開講座								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	10月8日～3月4日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	市民センター・公民館									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
病気や医療の知識を深める機会を設ける。	募集定員80名、全6回の市立芦屋病院と共催する健康講座

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
受講者数	人	7 (1回だけの受講者351人を含めない)	16 (1回だけの受講者315人を含めない)	80	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
講座で取り上げる病気・テーマにより、参加者にばらつきがある。	関心の薄いテーマであっても、万遍なく講座を行う必要がある。引き続き、1回のみ受講者を受け入れる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】田辺真人先生の「文化の歴史」講座 Part15								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月12日～3月8日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員60名、月1回(全6回)の歴史講座 講師の体調不良により講座開催は今年度2回で、残り4回は次年度に開催することにした。
----	-----------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	受講者数	人	86	71	60	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	従来から継続している人気の講座で、今後も継続して実施する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】シルクロードの光彩								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月14日～10月28日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員80名, 全3回の歴史講座
----	-----------------	----	-------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	受講者数	人	85	56	80	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	内容的には充実していたが、他のテーマで開催できないか検討する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】科学をいまどう理解するか								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月15日～11月19日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	科学や技術を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員80名, 全3回の科学講座
----	-----------------	----	-------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	74	39	80	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】世界はニュースだけではわからない								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月29日～3月18日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	時事問題の知識を深める機会を設ける。	内容	募集定員90名、全6回の時事問題講座
----	--------------------	----	--------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	130	91	90	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続	継続	
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)		
施策・事業名	【公民館講座】神戸、阪神間の街かどウォッチング	第2次文化振興基本計画での位置づけ
実施期間	11月10日～11月17日	重点取組項目
実施場所	神戸市内	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
対象(ターゲット)	市民全般 男性 女性 乳幼児 小・中学生 成人 高齢者 障がい者 外国人 その他()	施策の方向性
		(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	神戸、阪神間の歴史や文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員20名、全2回、講師とともに街を歩く野外講座
----	------------------------	----	----------------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	30	22	20	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】没後20年 司馬遼太郎の見た『坂の上の雲』から日本を考える								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	12月9日～3月3日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員80名, 全4回の歴史講座
----	-----------------	----	-------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
受講者数	人	106	92	80	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】芦屋で暮らした人々								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	2月4日～3月11日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	市民センター・公民館									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員80名, 全3回の歴史講座
----	-----------------	----	-------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	-	78	80	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性 今後も現状の事業レベルを維持する。
---------	----------------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館講座】芦屋大学公開講座								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	3月18日～3月25日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	健康を学ぶ機会を設ける。	内容	募集定員80名、全2回の芦屋大学と共催する健康講座
----	--------------	----	---------------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	32	115	80	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も芦屋大学との共催をしながら、良好な講座を実施する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館】にほんごがっきゅう								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月7日～3月30日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	外国人に対して日本語の会話、読み書きを学ぶ機会を設ける。	内容	全47回の日本語を教える講座(通年)
----	------------------------------	----	--------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	延べ参加者数	人	191	317	320	7,000(再掲)

文化面での課題	参加者が増えると講師の数が足らなくなる。	文化面での今後の方向性	今後も現状の事業レベルを維持する。
---------	----------------------	-------------	-------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館】講演会, セミナー等								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	歴史・文化や教育等を学ぶ機会を設ける。	内容	家庭教育セミナー 消費生活セミナー 平和事業講演会等, 年15回実施
----	---------------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	延べ参加者数	人	1,373	1,501	1,500	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合, 自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由, 特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館】NHK公開セミナーの共催事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	5月18日～10月20日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	ルナ・ホール									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
歴史・文化・科学・美術などを学ぶ機会を設ける。	全3回のNHKとの共催セミナー

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	延べ参加者数	人	2,346	1,295	2,100	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
NHKとの共催事業であるため、実施できるかはNHK次第であること。	今後もNHKとの良好な関係を維持しながら、共同して事業実施を行う。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	公民館・子ども教室								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他(親子)										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	親子で学ぶ機会を設ける。	内容	モールアート教室 オカリナ教室 子どもクッキング等、年18回実施
----	--------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	延べ参加者数	人	815	376	500	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	基本的には現在の内容で十分であるため、踏襲しつつ、新しい要素を入れられないか検討する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館音楽会】六車智香おしゃべりコンサート								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月11日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	音楽の知識を深める機会を設ける。	内容	六車智香おしゃべりコンサート
----	------------------	----	----------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	参加者数	人	113	217	120	500

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館音楽会】左手のピアニスト 智内威雄コンサート								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	7月23日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	公民館音楽室									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	音楽の知識を深める機会を設ける。	内容	左手のピアニスト 智内威雄コンサート
----	------------------	----	--------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
参加者数	人	-	99	120	500(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館音楽会】雅楽に合わせて舞う女人舞楽								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	11月12日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	公民館音楽室									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	音楽の知識を深める機会を設ける。	内容	雅楽に合わせて舞う女人舞楽
----	------------------	----	---------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	参加者数	人	-	53	120	500(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館音楽会】竹中真ジャズピアノコンサート								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	12月10日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	公民館音楽室										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	音楽の知識を深める機会を設ける。	内容	竹中真ジャズピアノコンサート
----	------------------	----	----------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
参加者数	人	-	89	120	500(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館音楽会】スプリング・コンサート								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	平成29年3月4日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	公民館音楽室										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	音楽の知識を深める機会を設ける。	内容	スプリング・コンサート
----	------------------	----	-------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	参加者数	人	104	99	120	500(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館】常設展示事業								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	7月16日～10月3日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	公民館展示場										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	展示場を使用し、芦屋の歴史や文化を学ぶ機会を設ける。	内容	7月16日～8月15日 阪神間文学に見る 大戦下の街と暮らし 9月21日～10月3日 芦屋のペット大集合展
----	----------------------------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	回数	回	9	2	3	400

文化面での課題	現業務委託業者の担当者が退職したため、開催回数が減少した。	文化面での今後の方向性	民間委託による事業であり、質・量ともに委託事業者と協議の上、向上させたい。
---------	-------------------------------	-------------	---------------------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続										
継続										
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)										
施策・事業名		公民館ギャラリー						第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間		4月13日～3月31日						重点取組項目		
実施場所		公民館展示場						①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進		
対象(ターゲット)		市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人
		その他()						施策の方向性		
								(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり		

広報媒体						
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()

目的	内容
展示場を使用し、市民団体の成果発表を行う場を提供する。	芦屋さくらまつり写真コンクール 世界の切手展 芦屋市コミスク合同文化展 等

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	回数	回	20	17	20	400(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	公民館
-------	-----

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	公民館図書室								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	公民館図書室										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	本に触れる機会を提供する。	内容	図書の貸し出し
----	---------------	----	---------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	
成果指標	人数	人	14,668	15,076	15,000	1,878	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	市民センター
-------	--------

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	市民センター管理運営								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	通年								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	市民センター施設の管理運営, 貸出し	内容	市民センター施設の管理運営, 貸出し
----	--------------------	----	--------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	件数	件	16,580	15,515	16,000	67,180	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も良好な施設管理を維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合, 自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由, 特色等

自己評価 (S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)	A
---	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【市民センター】市民ステージ								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月10日～11月20日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール, 小ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	グループ・団体等の日頃の成果を発表する場の提供	内容	グループ・団体等の日頃の成果を発表する。
----	-------------------------	----	----------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	団体数	団体	9	12	10	357

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【市民センター】市民ギャラリー								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月6日～11月7日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	グループ・団体等の日頃の成果を発表する場の提供	内容	グループ・団体等の日頃の成果を発表する。
----	-------------------------	----	----------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	団体数	団体	15	14	15	357(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【市民センター】市民絵画展								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	8月31日～9月4日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	内容
市民の日頃の成果を発表する場の提供	個人が製作した絵画を展示する。

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	出品者数	人	46	40	50	357(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
平成28年度は従来から実施していた一般参加のほか、ジュニアの部を設けたが、参加者がなかった。	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】第70回市民寄席「桂米團治独演会」								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月15日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
落語に親しむ。	市民寄席「桂米團治独演会」

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	来場者数	人	500	470	500	13,499

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	市民センター
-------	--------

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】木津川計の一人語り劇場「私は貝になりたい」								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月23日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	文化に親しむ。	内容	木津川計の一人語り劇場「私は貝になりたい」
----	---------	----	-----------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
来場者数	人	214	196	-	13,499(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	出演者が高齢のため、28年度で終了

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民センター

新規・継続	継続
注目施策・事業 (芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)	

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】国際フォーラム「音楽とトークで描く芦屋の未来」								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月14日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	国際交流に関する理解を深める。	内容	国際フォーラム「音楽とトークで描く芦屋の未来」
----	-----------------	----	-------------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	来場者数	人	-	185	-	13,499(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	28年度で終了

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】いきいきシネマサロン								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月21日～12月15日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	映画芸術に親しむ。	内容	映画「愛を積むひと」、映画「母と暮せば」、映画「愛と哀しみのポレロ」 映画「家族はつらいよ」、映画「ゆずり葉の頃」
----	-----------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	来場者数	人	3,085	2,912	3,000	13,499(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】夏休み子どもシアター								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	7月30日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	親子で映画に親しむ。	内容	映画「ミニオンズ」
----	------------	----	-----------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
来場者数	人	642	698	700	13,499(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名

市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】松永貴志JAZZ LIVE								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	7月31日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	音楽に親しむ。	内容	松永貴志JAZZ LIVE
----	---------	----	---------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	来場者数	人	178	376	400	13,499(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	市民センター
-------	--------

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】木津川計のラストステージ イン ルナ								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	9月23日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	内容
芸術に親しむ。	木津川計のラストステージ イン ルナ

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	来場者数	人	-	318		13,499(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	出演者が高齢のため、28年度で終了

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

○

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】第7回文学サロン「須賀敦子と芦屋・西宮」								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	10月22日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	文学に親しむ。	内容	第7回文学サロン「須賀敦子と芦屋・西宮」
----	---------	----	----------------------

指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
来場者数	人	468	443	450	13,499(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

毎年、芦屋にゆかりのある人物をテーマに行っている。

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 市民センター

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】第71回市民寄席「ざこば・南光・雀三郎 三人会」								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	11月25日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	ルナ・ホール									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	落語に親しむ。	内容	第71回市民寄席「ざこば・南光・雀三郎 三人会」
----	---------	----	--------------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	来場者数	人	505	545	550	13,499(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名	市民センター
-------	--------

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【ルナ・ホール事業】あしやティアフル映画祭								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	12月24日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	ルナ・ホール										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスター チラシ	SNS	TV 新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	-------------	-----	-----------	--------

目的	映画に親しむ。	内容	あしやティアフル映画祭
----	---------	----	-------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	来場者数	人	626	515	600	13,499(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館】芦屋川カレッジ33期生								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月11日～3月15日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	高齢者大学	内容	芦屋川カレッジ33期生 必須コース 選択コース(関西文化・世界探訪)
----	-------	----	--

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	受講者数	人	110	91	110	7,000

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館】芦屋川カレッジ聴講生								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月17日～2月15日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	高齢者大学	内容	芦屋川カレッジ聴講生 必須コース 選択コース(関西文化・世界探訪)
----	-------	----	---

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	
成果指標	受講者数	人	110	125	100	7,000(再掲)	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 公民館

新規・継続

継続

注目施策・事業

(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	【公民館】芦屋川カレッジ大学院								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月25日～3月27日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	市民センター・公民館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(2)文化活動を通じた地域のつながりづくり
	その他()										

広報媒体	広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	高齢者大学	内容	「知の殿堂」大学博物館から学ぶ。
----	-------	----	------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	受講者数	人	109	107	100	7,000(再掲)

文化面での課題	文化面での今後の方向性
	今後も現状の事業レベルを維持する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価 (S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)	A
--	---

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	読書講演会									第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	2月24日									重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	事業を通じて図書館利用を促進させる。	内容	市民を対象とした読書講演会
----	--------------------	----	---------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
参加者数	人	74	54	62	30	

文化面での課題	対象者(ターゲット)の設定	文化面での今後の方向性	事業を通じて図書館利用を促進させる。
---------	---------------	-------------	--------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果、A:達成できた、B:ある程度達成できた、C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	秋の大人が楽しむおはなしの会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	11月30日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	事業を通じて図書館利用を促進させる。	内容	大人を対象としたおはなしの会
----	--------------------	----	----------------

成果指標	参加者数	人	H27実績	37	H28実績	33	H29目標	38	事業費(単位:千円)
------	------	---	-------	----	-------	----	-------	----	------------

文化面での課題	ボランティア・職員の育成	文化面での今後の方向性	引き続き事業を継続・充実させる。
---------	--------------	-------------	------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	大人が楽しむおはなしの会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	2月22日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	事業を通じて図書館利用を拡充させる。	内容	大人を対象としたおはなしの会。
----	--------------------	----	-----------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	15
	参加者数	人	45	44	45		

文化面での課題	ボランティア・職員の育成	文化面での今後の方向性	引き続き事業を継続・充実させる。
---------	--------------	-------------	------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	金曜シネサロン								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月～3月								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	事業を通じて図書館利用を拡充させる。	内容	名画を中心とした映画上映会
----	--------------------	----	---------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
	参加者数	人	1,113	1,262	1,300	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
プログラムの工夫	図書利用等につなげる事業にする。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	おはなしの研究会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月～3月								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	ボランティアと職員の育成の場として充実させる。	内容	おはなし(ストーリーテリング)の研究と実技を行う。
----	-------------------------	----	---------------------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
	参加者数	人	209	193	200	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
ボランティア・職員の育成	ボランティアと職員が協働し、充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	こどもの本の研究会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月~3月								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	ボランティアと職員の育成の場として充実させる。	内容	絵本を中心とした児童書の批評、読み聞かせの実技、鑑賞等
----	-------------------------	----	-----------------------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
	参加者数	人	136	151	180	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
ボランティア・職員の育成	ボランティアと職員が協働し、充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	親子で楽しむおはなしの会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月21・28日, 10月22・29日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)親子に向けた積極的な情報発信
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
毎週実施しているおはなしの会を保護者又は成人も参加してもらい、物語の楽しさを伝える機会をつくる。	親子を対象にしたおはなしの会

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加者数	人	115	121	150	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
保護者にも参加いただけるよう周知する。	ボランティアと職員が協働し、充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	親子で楽しむ絵本の会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	5月21・28日, 10月22・29日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)親子に向けた積極的な情報発信
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
毎週実施しているおはなしの会を保護者又は成人も参加してもらい、絵本の楽しさを伝える機会をつくる。	親子を対象にした絵本の読み聞かせ

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
成果指標	参加者数	人	138	142	150	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
保護者にも参加いただけるよう周知する。	ボランティアと職員が協働し、充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

実施期間	5月21・28日, 10月22・29日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり
実施場所	図書館								施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
-------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	おはなしをととして、読書の楽しさを伝える。	内容	小学生を対象としたおはなしの会(怖いお話に特化したプログラム)
----	-----------------------	----	---------------------------------

成果指標	参加者数	単位	人	H27実績	103	H28実績	109	H29目標	120	事業費(単位:千円)	
------	------	----	---	-------	-----	-------	-----	-------	-----	------------	--

文化面での課題	高学年の参加者が少ない。	文化面での今後の方向性	引き続きボランティアと協力し、内容を充実させる。
---------	--------------	-------------	--------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続

継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)
○

施策・事業名	こどもおはなしの会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月～3月								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
おはなしをととして、読書の楽しさを伝える。	小学生を対象としたおはなしの会

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
成果指標	参加者数	人	582	759	800	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
高学年の参加者が少ない。	引き続きボランティアと協力し、内容を充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等
スタンプカードを取り入れたことで参加者数が増加したため。

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	絵本の会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月～3月								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	読み聞かせをととして、物語の楽しさを伝える。	内容	絵本の読み聞かせ
----	------------------------	----	----------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
	参加者数	人	739	675	700	

文化面での課題	保護者の方が家でも読んでいただけるような取組	文化面での今後の方向性	引き続きボランティアと協力し、内容を充実させる。
---------	------------------------	-------------	--------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

実施期間	打出分室こどもおはなしの会								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施場所	4月～3月								重点取組項目 ③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
対象(ターゲット)	図書館									
	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (3)読書のまちづくりの推進
	その他()									

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
おはなしや絵本の読み聞かせとおして、物語の楽しさを伝える。	おはなし・絵本の読み聞かせ

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)
	参加者数	人	63	54	60	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
保護者への取組	引き続きボランティアと協力し、内容を充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	小学生の本の部屋								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月～3月								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
広報あしや						

目的	ブックトーク等を通して、読書の楽しさを伝える。	内容	小学生を対象とした読書に関するイベントを行う。(ブックトーク・読み聞かせ等)
----	-------------------------	----	--

成果指標	参加者数	単位	人	H27実績	13	H28実績	13	H29目標	16	事業費(単位:千円)	
------	------	----	---	-------	----	-------	----	-------	----	------------	--

文化面での課題	高学年の参加者が少ない。	文化面での今後の方向性	引き続きボランティアと協力し、内容を充実させる。
---------	--------------	-------------	--------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	折り紙教室(子ども対象)								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	7月25日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体										
広報あしや	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()				

目的	内容
イベントを通して、子どもの図書館利用を促進させる。	小学生を対象とした折り紙教室

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	22
	参加者数	人	57	36	50		

文化面での課題	文化面での今後の方向性
ボランティアの育成	ボランティアと協力し、充実させる。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	人形劇の会								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	8月30日								重点取組項目	②未来を切り拓く子どもたちへ向けた文化政策の推進	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(1)豊かな情操を育む体験活動の推進
	その他()										

広報媒体	市HP						ウェブサイト(市HP以外)		ポスターチラシ		SNS		TV新聞等		その他()	
------	-----	--	--	--	--	--	---------------	--	---------	--	-----	--	-------	--	--------	--

目的	イベントをとおして、図書館利用を促進させる。	内容	幼児～小学生(低学年)を対象とした人形劇
----	------------------------	----	----------------------

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)	15
成果指標	参加者数	人	108	106	108		

文化面での課題	参加者の低年齢化	文化面での今後の方向性	ボランティアと協力し、内容を充実させる。
---------	----------	-------------	----------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
B

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

実施期間	ライブラリーコンサート 4月16日, 8月20日, 11月12日								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	図書館								施策の方向性	(1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者		
その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
市民が芸術に触れる機会を提供するとともに、図書館利用を促進させる。	市民を対象としたコンサート

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
	参加者数	人	710	560	672	

文化面での課題	文化面での今後の方向性
図書館施設の特性を生かす。	引き続き、ボランティアと協力して事業を実施する。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(戸屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(ハブリシティ)が多い等)

施策・事業名	ギャラリー展示								第2次文化振興基本計画での位置づけ	
実施期間	年4回								重点取組項目	①全てのライフステージに文化が行き届く文化政策の推進
実施場所	図書館									
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性 (1)誰もが文化を身近に楽しめる仕組みづくり
	その他()									

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	事業を通じて図書館利用を促進させる。	内容	図書館エントランスコーナーを利用した芸術作品の展示
----	--------------------	----	---------------------------

成果指標	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費 (単位:千円)
	展示回数	回	4	4	4	

文化面での課題	図書館施設の特性を生かす。	文化面での今後の方向性	引き続き、市民が芸術に触れる機会を提供する。
---------	---------------	-------------	------------------------

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)

A

平成28年度
第2次文化振興基本計画に基づく事業評価票

担当所属名 図書館

新規・継続
継続

注目施策・事業
(芦屋特有の事業、参加者等格段に向上した事業、メディアでの取上げ数(パブリシティ)が多い等)

施策・事業名	資料収集・保存・提供								第2次文化振興基本計画での位置づけ		
実施期間	4月1日～3月31日								重点取組項目	③芦屋文化を生かした戦略的なまちづくり	
実施場所	図書館										
対象(ターゲット)	市民全般	男性	女性	乳幼児	小・中学生	成人	高齢者	障がい者	外国人	施策の方向性	(3)読書のまちづくりの推進
	その他()										

広報媒体	市HP	ウェブサイト(市HP以外)	ポスターチラシ	SNS	TV新聞等	その他()
------	-----	---------------	---------	-----	-------	--------

目的	内容
市民等の要求に応えるとともに、資料収集・提供・保存等、図書館の蔵書構築を行う。	資料収集・提供・保存

	指標名	単位	H27実績	H28実績	H29目標	事業費(単位:千円)	24,041
成果指標	図書受け入れ冊数	冊	13,418	15,287	15,287		

文化面での課題	文化面での今後の方向性
図書館利用の促進	引き続き、市民のニーズを踏まえた資料収集・情報提供を行う。

(注目施策・事業にチェックした場合、自由に記載してください)

注目施策・事業とする理由、特色等

自己評価
(S:計画以上の成果, A:達成できた, B:ある程度達成できた, C:達成できていない)
A